

NPO 京都コミュニティ放送
第134回 番組審議会 議事録

開催日時：2019年9月24日（火） 10：30～11：45

会場：京都CEO協会

出席委員：中村正 岡田芳宏 岡本卓也 隅井美沙子 福井秀彦 安長幸音

欠席委員 ジェフ・バーグランド

局側委員：松岡千鶴 藤本香（順不同敬称略）

■審議番組 「月刊大人の階段」毎月第3日曜深夜0時 番組オーナー 福助さん
大人になれない大人のための鎮魂歌。10代に体験したラジオ番組へのオマージュ。

冒頭、番組オーナー 福助さんから番組趣旨の説明があった。

錦市場で仕事しているが、ラジオ番組をしないかと誘われた。せっかくなので自分が何となく好きでいる物を、整理して考える機会にしようと思った。未だバラバラだが大きいテーマを作りかけている。打ち込みの音楽をBGMに使っている。絵も描く。将来自分の趣味をミックスして本を作ったりイベントをしてみたい。自分が面白がるのが第一歩だと思う。

2019年9月15日の放送を聞いて審議に入った。

- ・いつもスタイルは同じなのか。
- ・現在はトークが長い。初回は映画の評論。戦前戦後位しか自分には辿れない。3回目は進駐軍クラブの話。80年代の音楽・文化が好きなので、戦中戦後から辿っている。〈福助〉
- ・月刊でなく週刊で良い位では？
- ・無理。準備に時間がかかる。残り2回で自分の事から離れて気楽にトークする予定。〈福助〉
- ・毎回、何の番組かりフレインしてほしい。
- ・ブログにはトーク内容をそのまま文章で載せている。（福助）
- ・今回取り上げた文化交流プロデューサー川添浩史さんの名前は何度か繰り返した方が良い。
- ・ゲストを呼ぶ予定は？
- ・自分が興味ある芸能人やミュージシャンを呼んでみたい。（福助）
- ・自分と同世代。もう1回分、今回と同じ話題でじっくり聞いてみたい。
- ・月刊なので番組コンセプトと自己紹介は毎回ある方が良い。川添さんは初めて知った。内容が濃いので1回で終わるのは勿体ない。そうすると福助さんの考え方がより伝わる。
- ・ipadに打ち込んだ原稿を読み切れないので、トークを早く始めなければと思っている。〈福助〉
- ・ライブはしているのか？
- ・3ヶ月に1回程度。担当はデジタルパーカッション。（福助）
- ・BGMはどこかで切って良いのではないか。今は言葉の角と音楽の角がぶつかっている。BGMを1回切って、ふんわりトークを始める方が良いのではないか。
- ・福助さんは声が良い。
- ・スポンサーが自分なので、番組を通じて社会とつながっている。
- ・スタッフの方に声をかけてもらって感謝している。ためてきた思いを発散できる。〈福助〉

以上で審議を終了した。

この審議会の議事録は2019年10月8日から事務所で閲覧できるようにした。

この審議会の議事録は2019年10月8日からホームページで公開した。